

円形劇場

観覧無料

くらしのフィギュアミュージアム

『遙かな町へ』



©パビエ/谷口ジロー

谷口ジロー展

2026 2.5木 ▶ 3.15日 9:00 ▶ 17:00

谷口ジローが18歳まで過ごした町・鳥取を離れて京都で就職したのは1966年のこと。2017年に死去するまで、県外で創作に励みました。『遙かな町へ』は出身の鳥取市ではなく、倉吉市が舞台ですが、主人公がタイムスリップして目にする町並みの描写には、作者本人のノスタルジーが感じられます。

『遙かな町へ』は我が国だけではなく海外でも人気がある作品です。今秋全国公開予定の映画は、倉吉市でも撮影が行われました。この度は、映画に登場する倉吉市の町並みを背景にした展示にレトロなふるさと倉吉を感じていただけます。そして秋に全国公開される映画では、活写された倉吉をぜひご覧ください。

主催：鳥取県、倉吉市 協力：株式会社ふらり、円形劇場くらしのフィギュアミュージアム

谷口ジロー

1947年〜2017年。18歳まで鳥取市で過ごす。ヨーロッパ、アジア、アメリカで多くの作品が翻訳・出版されて高い評価を得ている。ふるさと鳥取県を舞台とした作品としては、『遙かな町へ』（倉吉市）、「父の暦」（鳥取市）がある。『遙かな町へ』は映画化され、2026年秋、全国公開される予定。

※2月5日(木)は準備のため、オープニングセレモニー終了後(12:40予定)からのご観覧となります。ご了承ください。

同時開催

「遙かな町へ ロケ写真展」

詳しくは裏面をご覧ください ▶

倉吉 映画になる!!



遙かな町へ ロケ写真展



※写真提供：新日本海新聞社



開催

令和8年2月5日(木)～3月15日(日)

倉吉を舞台にした谷口ジロー氏の漫画「遙かな町へ」が映画化され、2025年に倉吉市を中心にロケが行われました。2026年秋の公開が予定されていますが、その前に、映画の舞台となった倉吉の街並みや人々がどのように撮影されていたのか、報道写真を中心に展示します。実際の映画の中でどのように使われるのか、など楽しみにしながら公開を待つことにしましょう。

谷口ジロー展も同時開催します。まんがと映画で倉吉を盛り上げていきましょう。



【主催】株式会社 円形劇場

【協力】護縁株式会社、倉吉ニューシネマプロジェクト、新日本海新聞社
映画「遙かな町へ」を応援する会

【会場】円形劇場くらしフィギュアミュージアム 1 階 特別展示室

【開館時間 / 休館日】 9:00 - 17:00 / 年中無休 【駐車場】 あり (大型バス駐車可)

【入場料】 無料 (常設展は別途料金が必要です)



鳥取県倉吉市鍛冶町 1-2971-2 • TEL.0858-27-1200
<https://enkei-museum.com>

【後援】鳥取県、鳥取県教育委員会、倉吉市、倉吉市教育委員会、倉吉商工会議所、倉吉観光MICE協会